

公益財団法人日本バスケットボール協会
平成27年度 第1回理事会 議事録

日 時: 平成27年4月8日(水) 13:00~15:20

場 所: JBAオフィス 8F会議室

出 席: <理事>

梅野哲雄、丸尾充、西川和人の各副会長、青木隆、河内敏光、熊谷秀樹、倉石平、小坂悦夫、
佐々木三男、鮫島俊秀、品田奥義、庄司義明、高橋雅弘、西井歳晴、野村俊郎、橋本信雄、林直樹、
原田茂、福井晴次、堀井幹也、森野和泰、吉田長寿の各理事

<監事>

榊原みどり、高原洋太郎の各監事

<特任委員>

小倉恭志、片山正明、坂本昌彦の各特任委員

欠 席: 星芳樹専務理事、岸本和巳、吉田利治の各理事、内山英司特任委員

オブザーバー: 山見博康裁定委員会委員長

議 題

- (1) 平成27年度女子日本代表チームスタッフについて
- (2) JAPAN2024タスクフォース方針受入れ準備について
- (3) 平成27年度男子ユニバーシアード日本代表チームについて
- (4) 平成27年度男子U-16日本代表チームについて
- (5) 平成27年度各カテゴリー女子日本代表チームについて
- (6) 大会要項について
- (7) ユニフォーム規程改定に伴う運用細則について

1. 定足数の報告

吉田(長)理事より出席者数の報告があり、定款32条に基づき、理事現在数(25名)の過半数の出席数(出席: 22名)を満たすため、会議成立が宣せられた。

2. 挨拶

梅野副会長(会長職務代行)より開会の挨拶があった。

3. 議事

議長は梅野副会長(会長職務代行)が務めた。

(1) 平成27年度女子日本代表チームスタッフについて（高橋理事）

平成27年度女子日本代表チームについて、内海ヘッドコーチを中心としたスタッフ体制案が資料に基づき提案された。なお、リオオリンピック予選に向けて、スポットでのコーチの招集も計画していること、活動スケジュールについては現状国内での強化合宿となっているが、制裁が解除された場合には海外遠征を含め変更を行う可能性があることが補足された。また、女子日本代表候補選手については現在最終選考中であり、常務理事会一任とすることが提案され、全て提案通り承認された。

さらに、世界選手権への出場が出来なくなったU-19世代についても、日本代表につながる継続的な強化として活動を行うことを計画していることが報告された。

<承認>

(2) JAPAN2024タスクフォース方針受入れ準備について（吉田(長)理事）

1月以降のJAPAN2024タスクフォースおよび緊急対策本部の活動状況が資料に基づき報告された。続いて、第2回および第3回のタスクフォース会議後に記者発表された内容の確認を行い、タスクフォースの方針に基づいてJBAとしても対応を進めていくこと、予定としては4月22日に臨時理事会、4月29日に臨時評議員会を招集して機関決定の手続きを進めていくことが承認された。

また、今後への道筋が見えてきた状況も踏まえ、現理事、監事、特任委員の辞任届のとりまとめを行い、職務については新体制発足までは継続していくことが確認された。

さらに、改革の実行には地方の理解、協力も不可欠であり、出来るだけ情報を流しながら理解を求めていくこととした。

<承認>

(3) 平成27年度男子ユニバーシアード日本代表チームについて（堀井理事）

今年7月に開催される第28回ユニバーシアード競技大会に出場する男子ユニバーシアード日本代表チームについて、候補選手17名とスタッフ7名が提案され、選手については、4月中に12名を選考する予定であり、最終メンバーの選考については常務理事会一任とすることが提案された。あわせて、5月16日、17日に開催する留学生選抜との強化試合に出場する選手11名が提案され、全て原案通り承認された。

<承認>

(4) 平成27年度男子U-16日本代表チームについて（堀井理事）

今年度開催されるFIBA ASIA U-16選手権大会に出場する男子U-16日本代表チームの第1次強化合宿参加スタッフ7名と候補選手18名が提案された。また、コーチ2名の選考は常務理事会一任とすることが提案され、全て原案通り承認された。

なお、FIBA ASIA選手権大会はミャンマーでの開催が白紙となり、開催地、日程とも未定であることが報告された。

<承認>

(5) 平成27年度各カテゴリー女子日本代表チームについて（高橋理事）

今年7月に開催される第28回ユニバーシアード競技大会に出場する女子ユニバーシアード日本代表チームの選手12名とスタッフ7名が提案された。続いて、今年8月に開催される日韓中ジュニア交流競技会と来年開催されるFIBA ASIA U-18選手権大会に向けた女子U-18日本代表チームのスタッフ6名と候補選

手15名が提案された。続いて、今年8月に開催されるFIBA ASIA U-16選手権大会に向けた女子U-16日本代表チームのスタッフ6名と候補選手17名が提案され、全て原案通り承認された。

<承認>

(6) 大会要項について (庄司理事)

「第53回男子・第45回女子全日本教員選手権大会」の大会要項が提案され、原案通り承認された。

<承認>

(7) ユニフォーム規程改定に伴う運用細則について (庄司理事)

ユニフォーム規程の改定に伴う大会における確認フローの案が提案され、さらに修正を加えながら夏までには成案としていくことが確認された。

<継続審議>

4. 報告事項

(1) シャンソン化粧品女子バスケットボール部への懲罰の件について (吉田(長)理事)

シャンソン化粧品女子バスケットボール部に科した罰金について、3月31日付で入金があったことが報告された。また、あわせてシャンソン化粧品から理事会での再審議を求める文書が提出されたが、全てこれまでに裁定委員会および理事会にて調査、審議をして決定した内容であるため、改めて審議をする必要がないことが確認された。さらに、再発防止のため、若年層の移籍に関するルール、手続きの周知、徹底を行っていくことが確認された。

※以下の報告事項は資料提出(メール)にて報告とした。

(2) 一般報告 (吉田(長)理事)

・2015年3月の諸会議等の開催実績

(3) 事業戦略部 (渡貫事業戦略部長)

・2015年度の男女日本代表国際親善試合について、6月の資格停止処分解除を前提として準備を進めていること
・3x3の普及促進、各種システムの説明を目的としてエリアごとに説明会を開催する予定であること
・JOCより新規大会として「1st Asia University 3x3 Basketball Championships2015」の案内があったが、当初計画にないことと資格停止処分中であることから派遣を見送ること

(4) 国際部 (橋本理事)

・3月12日、13日に開催されたFIBAエグゼクティブコミッティーの概要
・3月31日に開催されたFIBA ASIAセントラルボードの概要

(5) 競技会委員会 (庄司理事)

・3月に開催された「全日本クラブ選手権大会」、「都道府県対抗ジュニア大会(ジュニアオールスター)」、「全国ミニ大会」の試合結果

(6) エンデバー委員会 (佐々木理事)

- ・トップエンデバーおよびブロックエンデバーの活動状況等
- ・平成26年度のジュニアエリートアカデミー(全7回)の総括レポート

(7) 指導者育成委員会 (倉石理事)

- ・コーチカンファレンス等の開催実績
- ・全国バスケットボールコーチクリニックについて、平成27年度は東京開催、平成28年度以降は東京、大阪等大都市での開催を企画していくこと

(8) その他 (林理事)

- ・平成21年4月に発覚した全日本大学(関東大学)連盟の財務問題について、民事訴訟等含む被害金額の縮小に努めた結果、これ以上の回収が見込めないことなどから、両連盟とも被害金額を全額損金計上して償却し、本件の終結を行ったこと

以上